

シラバス 自動車整備科 二級自動車整備士 コース

講義名	＜学科＞ 一年次後期 シャン構造2				
概要と目的	国家試験レベルの知識を身に付ける				
担当者	望月 順一	単位数	17 時限	区分	学科
実務経験	カーディーラー等の整備工場において自動車整備の実務を経験した教員がシャン構造2について教育を行う科目。				
講義対象	一年生	時期	9月下旬～3月		
使用教材	三級自動車シャン				
到達目標	三級レベルのブレーキ装置の理解				
成績評価	期末試験・出欠点・平常点 A評価が全体の25%、B評価が45%、C評価が30%を基準とする。				
授業計画					
1	○第6章 ホイール・アライメント(P123) 概要と必要性 前後輪相互の関係位、ホイール・アライメントの5つの要素(フロントとリヤ)				
2	構造と機能(P124) キャンバとキャスト				
3	構造と機能(P126) キング・ピン傾角・SAI キャスト・トレールとキング・ピン・オフセット				
4	構造と機能(P127) トー、ターニング・ラジラス、スラスト角、セット・バック				
5	ホイール・アライメントの整備(P128) トーイン・ゲージと CCKG サイド・スリップの測定と調整方法 タイヤ偏摩耗とアライメントの関係				
6	○第7章 ブレーキ装置(P135) 概要と種類 油圧式フット・ブレーキの構造				
7	ドラム式油圧ブレーキ本体(P139) 種類と作用 リーディング・トレーリング・シュー式(自己倍力作用について)				
8	ドラム式油圧ブレーキ本体(P140) 種類と作用 (ツー・リーディング・シュー式、デュアル・ツー・リーディング・シュー式、デュオサーボ式)				
伝達事項等					
校長	所 属			授業資格	実務経験
	学科長	担当者		学科実習 あり	あり

シラバス 自動車整備科 二級自動車整備士 コース

講義名	<学科> 一年次後期 シャン構造2			
概要と目的				
担当者		単位数		区分
講義対象		時期		
使用教材				
到達目標				
成績評価				
授業計画				
9	ブレーキ・ドラム、ホイール・シリンダ、自動調整装置の構造 (P142) ドラム式ブレーキまとめ			
10	ディスク式油圧ブレーキの種類と構造作動 (P144) 浮動型キャリパと固定型キャリパの作動			
11	ディスク式油圧ブレーキの種類と構造作動 (P145) 構成部品とその役割、自動調整装置 (ピストン・シールの作動)			
12	ブレーキ操作機構 (P136) 名称と役割 タンDEM・マスタ・シリンダ作動 (正常時と液漏れ発生時)			
13	ブレーキ液の種類と性質 (整備方法の注意点)、ベーパーロック (P148)			
14	アンチロック装置 (P149) 種類と方式 プロポーショニング・バルブとロード・センシング・プロポーショニング・バルブ			
15	真空式制動倍力装置の作動理解 (P152) 実習授業の復習 (2 級問題解説) 圧縮空気式制動倍力装置の構造 (エア・サスペンション説明と共有)			
16	パーキング・ブレーキ本体説明 (P156) 整備 (P160) ブレーキ装置まとめ			
伝達事項等				
校長	所 属			
	学科長	担当者		

シラバス 自動車整備科 二級自動車整備士 コース

講義名	<学科> 一年次後期 シャシ構造2			
概要と目的				
担当者		単位数		区分
講義対象		時期		
使用教材				
到達目標				
成績評価				
授業計画				
17	期末試験			
伝達事項等	国家試験問題を2年次再確認			
校長	所 属			
	学科長	担当者		

シラバス 自動車整備 科 二級自動車整備士 コース

講義名	＜学科＞ 一年次後期 シャシ構造1				
概要と目的	国家試験レベルの知識を身に付ける				
担当者	花岡 大輔	単位数	17 時限	区分	学科
実務経験	カーディーラー等の整備工場において自動車整備の実務を経験した教員がシャシ構造1について教育を行う科目。				
講義対象	一年生	時期	9月下旬～3月		
使用教材	三級自動車シャシ(P36～78)				
到達目標	三級レベルの駆動装置の理解				
成績評価	期末試験・出欠点・平常点 A評価が全体の25%、B評価が45%、C評価が30%を基準とする。				
授業計画					
1	トランスファ、4WDの種類 P36～37				
2	種類、センタデフ、トランスファ作動 P37～39				
3	シャフト、ユニバーサル・ジョイント、プロペラ・シャフト構成 P39～41				
4	危険回転速度、ドライブ・シャフト P40～41				
5	ユニバーサル・ジョイント(フックジョイント) P41～42				
6	パーフィールド型ジョイント P42～43				
7	ファイナルギヤ及びディファレンシャル P43～47				
8	アクスルとサスペンション概要 P59				
伝達事項等					
校長	所 属		授業資格	実務経験	
	学科長	担当者	学科実習 あり	あり	

シラバス 自動車整備科 二級自動車整備士 コース

講義名	<学科> 一年次後期 シャシ構造1			
概要と目的				
担当者		単位数		区分
講義対象		時期		
使用教材				
到達目標				
成績評価				
授業計画				
9	車軸懸架式フロントアクスル P60 車軸懸架式リヤアクスル(前浮動、半浮動) P60～61			
10	サスペンションの種類 P61～68			
11	アクスル(独立懸架式)スプリング概要 P64～67			
12	スプリングの種類リーフ、コイル(構造のみ) P38～70			
13	スプリング(コイル、トーションバー) P70～71			
14	スプリング(エア、その他) P71～82、レベリングバルブ ショック・アブソーバの分類、ショック・アブソーバの構造、作動 P72～73			
15	演習 プリント			
16	演習 解説 プリント			
伝達事項等				
校長	所 属			
	学科長	担当者		

シラバス 自動車整備科 二級自動車整備士 コース

講義名	<学科> 一年次後期 シャン構造1			
概要と目的				
担当者		単位数		区分
講義対象		時期		
使用教材				
到達目標				
成績評価				
授業計画				
17	期末試験			
伝達事項等				
校長	所 属			
	学科長	担当者		